

# 若越の林業



敦賀駅オルパーク前エントランスに花の寄せ植えを設置

2023 **3** No. 742

クリスマスから年未年始に、花いっぱい推進員などの協力により、花の寄せ植えを作成し、敦賀駅オルパーク前エントランスに設置しました。

今年はお正月をモチーフに、みなさんが素晴らしい作品に仕上げました。

(嶺南振興局 二州農林部林業水産課)

# 令和4年度ふくい県産材利用推進功労者知事表彰について

## 表彰制度の概要

県では、「みんなでつかおう「ふくいの木」促進条例」に基づき、県産材を利用する意欲の向上を図り、さらなる需要を拡大するため、県産材を積極的に加工、供給または利用し、県産材の利用推進に貢献した企業や団体を表彰しています。

## 被表彰者の紹介

**有限会社寺尾製材所**（南越前町脇本） 代表取締役 寺尾 義信氏

○県産材使用量（R3年度実績）

製材（丸太） 641 m<sup>3</sup>/年 県産材使用率 100%

住宅（製品） 38 m<sup>3</sup>/年 県産材利用率 75%/棟

### 【主な取組み】

- ・製材において、原木はすべて県産材を使用し、柱などの建築部材を他の製材所との連携により安定的に供給
- ・県内住宅の建築において、輸入木材から県産材利用への転換を図り、県産材利用を拡大



▲ 製材施設

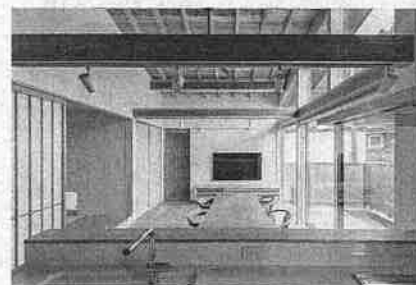
**株式会社ケーシュウ・ワークス**（福井市加茂河原） 代表取締役 竹内 啓修氏

○県産材使用量（R3年度実績）

住宅（製品） 82 m<sup>3</sup>/年 県産材使用率 79%/棟

### 【主な取組み】

- ・柱や梁の材料に木目や色の美しさなどの県産材の良さを見せる家づくりを実践
- ・県産材住宅コーディネーター研修の講師を務め、県産材の魅力や使う意義を広く周知



▲ 施工事例

**もりもりバイオマス株式会社**（あわら市舟津） 代表取締役 土谷 秀靖氏

○県産材使用量（R3年度実績）

チップ使用量 1,021 m<sup>3</sup>/年 県産材使用率 100%

### 【主な取組み】

- ・燃料調達から熱供給までを地域の中で行う地産地消システムを確立
- ・温泉施設において、重油ボイラーから木質バイオマスボイラーに転換し、地域で間伐されたスギ材を燃料として有効活用



▲ 木質バイオマスボイラー

## 表彰式の様子

令和4年11月12日（土）、福井県産業会館本館2階展示場にて表彰式を実施しました。



▲ 表彰式



▲ 1段目左端：竹内氏、右端：土谷氏、右端2番目：寺尾氏

（県産材活用課 ふくいの木利用室）



## ショッピングセンターで木づかいキャラバンを実施しました

県では、平成29年7月に施行された「みんなでつかおう『ふくいの木』促進条例」に基づき、木に触れ合い親しみ、木の良さや木を使う意義を普及し、県産材利用拡大を図るための取り組みを進めています。

その活動の一環として、令和4年12月3日(土)にショッピングシティベルにおいて、小学生親子を対象に、木づかいキャラバン(木工教室)を行いました。

参加者には、写真立てやペン立ての製作、丸太切り体験を通じて、木の温もりや加工のしやすさなどを感じてもらいました。

さらに、体験の間にはパネル展示や製品カタログなどを活用し、森の大切さやはたらき、間伐の必要性の説明、県産材製品のPRを行いました。

当日は想定を超える親子が訪れ、準備した材料が無くなるほど大盛況でした。

参加者からは、「木は写真立てなど、いろんなことに使えるのが分かった」、「木の枝やドングリ、マツぼっくりなどを使って自分だけのものが作れた」、「ノコギリは今までに使った事があって木を切るのは簡単だと思っていたが、丸太が厚くて切るのが難しかった」といった感想がありました。

今後もこうした活動を通じて、県産材の利用拡大を図っていきたいと思います。

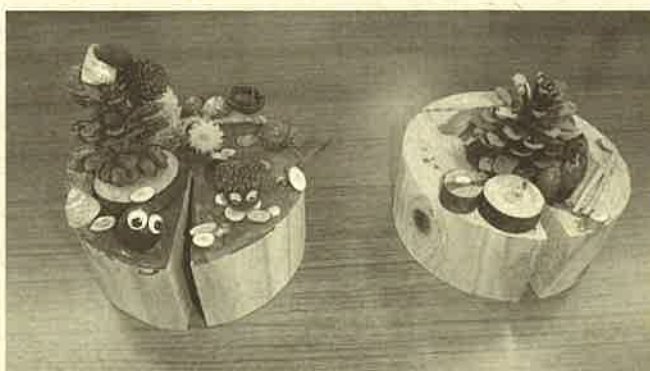
(福井農林総合事務所 林業部 林業・木材活用課)



▲ 丸太切り体験



▲ 会場の様子



▲ 完成した作品



## 林政のページ

# 「ふくい林業カレッジ」における 高性能林業機械 VR シミュレーター研修の導入について

県産材の生産拡大に向け、木材の生産性向上を図るためには、高性能林業機械の導入と操作するオペレータの育成が重要です。

ふくい林業カレッジにおけるオペレータの育成には、現場でのトレーニングが不可欠ですが、天候に左右されること、機械を使用する現場や研修生の安全の確保が必要なことなどから、現場での研修時間を増やしていく状況です。

そこで、今年度、「ふくい林業カレッジ」において、VRシミュレーターを試験的に導入し、技術習得度や実習の効率性などの検証を行いました。研修生からは「実技研修の復習になったため、休み時間などに自主練習がしたい」といった意欲的な意見を聞くこともできました。また、検証に参加した林業事業体のオペレータからは、「反復練習で操作技術の定着が図られる」、「操作技術を点数化しているので、上達の確認がしやすい」といった肯定的な意見が多く寄せられました。

今回の検証において、高性能林業機械の操作技術の習得と定着、安全意識の向上にも効果が認められたことから、令和5年度から森林環境譲与税を活用して、VRシミュレーター研修を取り入れ、実技研修前の基本操作の練習、実機研修やインターンシップで習得した技術の復習に役立てていく予定です。

(県産材活用課 林業戦略グループ)



## 緑推だより

### 「緑の募金」について

緑の募金運動は、春季の本格的活動を開始する時期が間近となりました。例年4月に「緑の募金」をアピールするため、福井市にぎわい交流施設「ハピテラス」で「緑の募金キャンペーン式」を行っています。

式典では、緑の少年団やガールスカウト、ボーイスカウト達に、みどりの羽根や募金箱、のぼり旗の伝達を行い、その後それぞれが街頭募金活動を行います。しかし、未だ新型コロナウイルス感染症が収束に至らないため、子ども達への

感染の拡大を防止する観点から今年度も開催を見送ることになりました。県民あげての感染対策に対する行動指針の遵守、コロナワクチンの接種等により、一日も早く収束に向かうことを願うばかりです。さて、緑の募金の運動期間は今年も例年通り、春期は3月22日～5月31日、秋期は9月1日～10月31日です。

令和4年度の募金の総額は約2,695万円で、家庭や職場、企業や学校など多くの皆様からお寄せいただきました。いただきました募金は、地域の公園や空き地などで行う植樹活動をはじめ、学校、保育園、公民館など公共施設での植樹、市町がイベントなどで行う緑化苗木の配布、森林ボランティアによる森づくり活動など、県内の緑化の推進活動に使わせていただいています。

また、次代を担う子ども達が行う間伐などの体験学習や、木工・クラフト体験などにも活用されています。さらには、東日本大震災等の自然災害による被災地の森林の整備や緑化活動にも支援しています。

今年ももうすぐ「緑の募金」期間が始まります。皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。



▲ 街頭募金活動（小浜市）



▲ ボランティアの植樹活動（大野市）

(公社)福井県緑化推進委員会



## 森林施業 プランナーの紹介

Introduction of the forest operations planner

かとう しょうじ  
加藤 譲史 さん (越前福井森林組合)

今回は、池田地区の施業集約化で活躍している、越前福井森林組合の加藤譲史さんをご紹介します。

加藤さんは、ふくい林業カレッジを第一期生として卒業後、平成 29 年に越前福井森林組合の前身である池田町森林組合に入組されました。

令和 2 年度より施業集約化や間伐、作業道などの森林整備に本格的に携わるようになりましたが、森林所有者の方に対し、より深く幅広い専門知識を背景とした施業提案を行いたいと考え、令和 3 年に森林施業プランナーの資格を取得されました。

「資格取得以前は目の前の業務だけに集中しがちになっていたが、資格取得のために学ぶ中で、プランナーとして活動するためには様々な能力が求められていることや、その仕事は幅広い業務内容に関わりながら、最終林型や長期的な森林の価値そのものにも影響を与えていくことが分かり、自信に繋がるとともに広い視野が身についた」と加藤さんはおっしゃっていました。

これからの林業はドローンや航空レーザなど益々 ICT 関連の知識や技術が求められていくため、今後はこれらを積極的に業務へ活かすことで、施業の効率化や低コスト化を図り、山元への還元につなげていきたいとのことでした。

合併後の越前福井森林組合は、池田町だけでなく丹南管内の森林の 6 割にエリアが拡大しており、森林施業プランナーの役割はこれまで以上に重要となっているため、加藤さんの今後のご活躍に期待しております。

(丹南農林総合事務所 林業部 林業・木材活用課)



施業提案のための森林調査



森林所有者との現地立会



## 研究だより

# 福井県における早生樹（センダン・コウヨウザン）生産の手引きを作成しました

総合グリーンセンター 林業試験部 森林育成・特産研究グループ 木下 輝雄

### はじめに

県内の人工林は本格的に利用する時期を迎え、森林資源の循環利用を促進していく必要があります。

そこで生育が早く、スギの代替え樹種として期待される早生樹に着目して、平成30年度から令和4年度までの調査結果を取りまとめ、このたび、生産の手引きを作成しました。本手引きは早生樹の植栽適地や植栽方法、下刈りなどの保育方法等について基本的な事項を示すことを目的としています。

### 手引きの構成について

本手引きでは、早生樹の用材利用としての検討や実用化が進んでいるセンダン・コウヨウザンの2種類について記載しています。

センダンは、本県では海岸部の比較的温暖な地域に自生しています。本県での流通量は少ないですが、全国的にみると九州地方を中心に家具材や住宅部材として流通しています。これまで明らかになっていなかった、本県におけるセンダンの植栽適地や植栽方法、幹を通直にするための「芽かき」等の保育管理について記載しています。

コウヨウザンは、中国から導入された早生樹であり、神社・仏閣等に単木的に植栽されているものが多いですが、広島県では同一林齢のスギ以上の蓄積を有するコ

ウヨウザン林分があります。コウヨウザンは萌芽再生力が強いことから、再生林の低コスト化にも繋がる樹種として期待されています。一方でノウサギによる被害が顕著となっていることから、植栽適地や植栽方法、保育管理等と併せてノウサギ等の被害対策についても記載しています。

### 最後に

本手引きは福井県内における植栽後5年間の初期生長過程での調査に基づいて、その成果等を整理したものであり、令和4年度末時点の暫定版として位置付けし、段階的に更新していくものとします。

今後、講習会等を通じて、本手引きの普及を図っていきたく考えています。

本手引きが現場で活用され、生産拡大に役立てれば幸いです。

福井県における早生樹（センダン・コウヨウザン）生産の手引きは、右記のURLもしくはQRコードからご覧いただけます。



<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/green-c/sikennkennyuu.html>

## 県域普及員だより

### 福井県産無花粉スギの出荷に向けて

越前市余川町で山林種苗・コンテナ苗の生産に取り組んでいる酒田彦兵衛農園では福井県産無花粉スギの初出荷に向けた準備が進んでいます。無花粉スギを選別していく作業としてまず、令和4年7月22日に無花粉スギの候補となるスギコンテナ苗に、雄花の着果を早め花粉の有無を確認するためのジベレリン散布が行われました。そして2月下旬から、着果した雄花を揺すり花粉が発生したスギを除く作業が始まり、3月末頃まで繰り返し、無花粉のスギのみを確実に選別していきます。酒田彦兵衛農園では今後も無花粉スギ苗の継続的な生産が計画されており、県内各地域に福井県産無花粉スギの植栽が広がっていくことを期待しています。



雄花の着果状況の確認



着果した雄花

※揺すり花粉の発生したものを除く

(総合グリーンセンター 緑花・花づくり推進部 技術指導グループ)





## 県森連だより

### ～新たな林業の担い手を目指して～

#### 「森林の仕事ガイダンス」開催！

森林・林業に関心を持つ人ならどなたでも

参加ができる林業就業相談会「森林の仕事ガイダンス」が、1月28日（土）に福井アカデミアホテルにて開催されました。当日は、雪の影響もありましたが、県外からの方も合わせ30名の来場者がありました。



参加者は、16団体のテーブルを回り、担当者から仕事内容や職場環境など林業就業について熱心に話を聞いていました。また、チェーンソーや防護ズボンなど林業の資材コーナーも設置し、最新の林業機械を知ってもらうことができました。

このガイダンスをきっかけに、森林の仕事についてより多くの方に知っていただき少しでも林業就業へ繋げていきたいです。



#### 「林業就業支援講習」開催！

林業への就業を希望する方を対象に、林業に関する知識や技術を学ぶ「林業就業支援講習」が1月18日～2月3日の15日間にわたって

実施され、県外からの2名を含む10名が講習に参加しました。

研修生には、チェーンソー等の安全講習を受講していただき福井の森林・林業について座学や原木しいたけ植菌体験、高性能林業機械を利用した搬出現場の見学、さらには伐倒・造材の現場実習など、林業を幅広く体験していただきました。最終日は、林業の先輩に体験談を話していただき森林の仕事が続けていくために大事なことを学びました。



研修生の中には就職が決まった方もおり、林業従事者として活躍されることを期待します。

(福井県森林組合連合会)

株式会社ジツタは全国の森林組合様の業務に特化したシステムを開発し続けています



# jitsuta

- ・スマホとGNSS受信機、レーザーコンパスと連動して簡単測量
- ・ドローンで撮った写真から造林補助申請図面の作成や山の材積推定
- ・GIS機能の付いた森林測量管理ソフトの決定版Assist7
- ・音声と画像認識を採用した木材検収アプリ

株式会社ジツタ 〒790-0964 愛媛県松山市中村二丁目8番1号

TEL 089-931-7175 FAX 089-934-7701 URL <https://www.jitsuta.co.jp>

# RICOH

## Customer's Customer Success

～お客様のお客様にまで届く価値を創出する～

### リコージャパン株式会社

福井支社／福井市御幸3丁目7-15

【営業品目】 農林業機械・索道工事・モノレール工事施工・荷役産業土木機械・各種機械修理

## 北村商事株式会社

〒910-0854 福井市御幸4丁目7番7号  
TEL (0776) 27-3100 FAX (0776) 22-7270



### Nakajima Kenki

- 建設機械・舗装機械・除雪機械
- 高性能林業機械
- フォークリフト
- 各種 販売・整備・レンタル

高性能林業機械の販売・整備・レンタル

### 株式会社 中島建機

〒福井市下六条町35号25番地1  
☎ 0776-41-0115  
☎ 0776-41-0775



松枯れ予防  
樹幹注入剤

## マッケンジー ランテクター

ニホンジカ専用忌避剤  
卵から生まれた忌避剤が樹木をニホンジカの食害から守る

### 大同商事株式会社

本社 東京都港区浜松町1丁目10番8号(野田ビル)  
〒105-0013 電話03(5470)8491  
FAX03(5470)8495  
大阪営業所 大阪府吹田市豊津町36-2-101  
〒564-0051 電話06(6384)1288(代表)

## Leasing Our Passion

私たちは金融の枠組みを超えて、  
お客様の思い描くビジネスの将来を、  
ともに見つけ、育み、実現することに挑戦し続けます。  
より良い社会と未来のために。

### JA三井リース株式会社

(金沢支店) 〒920-0869 金沢市上堤町1-12 金沢南町ビルディング  
TEL: 076-221-5121 FAX: 076-221-2346

## “森林づくりのお手伝い”

【営業品目】  
肥料、農業、森林除草剤、農林業資材、農業土木

### 日栄商事株式会社 福井支店

〒918-8231 福井市問屋町4丁目1104番地  
TEL (0776) 24-1217 (代)  
FAX (0776) 24-1202 番



#### 事業内容

- ・ソフトウェア開発
- ・ソリューション
- ・クラウド・インフラ
- ・プロダクト
- ・ハードウェア
- ・アプリ開発
- ・WEB制作
- ・コミュニティマガジン発行

### 株式会社 ビジュアルソフト

【本社】  
福井市八重巻町314番地  
TEL.0776-56-3636(代表) FAX.0776-56-3672  
E-MAIL: info@vss.co.jp URL: http://www.vss.co.jp

営業所  
・敦賀営業所  
・東京営業所  
・名古屋営業所  
・金沢営業所

海外旅行・国内旅行・旅行企画・JR切符・航空券・  
バス・ホテル・旅館の手配

### SUKA TRAVEL AGENCY (有) アスカ トラベル

〒910-0016 福井市大宮4丁目10-17  
芦原街道沿い  
TEL (0776) 29-0012  
FAX (0776) 29-0023

【若越の林業】  
令和5年3月10日発行

編集 福井県森林組合連合会 編集発行所 福井県山林協会  
〒918-8567 福井市江端20-1 〒910-0003 福井市松本3丁目16-10  
☎ (0776) 38-0345 福井県職員会館ビル ☎ (0776) 23-3753

印刷所 創文堂印刷(株)  
定価 1部100円(税・送料別)

会員に配布する本誌  
の購読料は、会費に  
含まれています。



この用紙は、日本の森林を育てるために間伐材を積極的に使用しています。